

# 地域にふさわしい 金融機関へ。

この地域のベストパートナーとして、みなさまの暮らしに役立つ金融機関をめざします。  
「高い経営理念」と「堅牢な体制」を併せ持つ「地域顧客から最も信頼される輝かしい金庫」の  
実現に向けて邁進してまいります。

## 経営 理念

大阪商工信用金庫は、きめ細かい金融サービスの提供により、お客さまの信頼に応えるとともに、  
公正で健全な業務運営を通じて地域社会の発展に貢献いたします。

- 第一に、信用と社会的責任を重んじ、健全な経営を行う。
- 第二に、お客さま本位の経営を行う。
- 第三に、積極性、先進性、合理性を重視し、進取の経営を行う。
- 第四に、人間尊重の精神に則り自由闊達な庫風を創る。
- 第五に、高い見識と専門性を備えた清廉な人材を育成する。

## 金庫 概要

( 令和2年  
3月末現在 )

商号	大阪商工信用金庫	出資金	48億16百万円
本店所在地	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号 TEL：06-6267-1636（代）	自己資本額	390億2百万円
店舗数	大阪市内：13ヶ店／大阪府下：7ヶ店	預金高	6,380億円
創業	昭和4年5月	貸出金	4,158億円
改組	昭和26年10月	役職員数	445名<男 259名：女 186名>
代表者	理事長 多賀 隆一（タガ リュウイチ）	業務内容	預金業務、融資業務、為替業務、 代理貸付業務などの信用金庫法に 基づく代理業務。



ロゴマークは、お客さまのお金を大切に預かる「商工」を母親が子供を抱いているような「優しさ」と「信頼関係」をイメージ化した自由な曲線で表現し、身近な信用金庫として、お客さまの良きパートナーでありたいとの願いを込めております。

● 情熱・活力を表す  
「レッド」

● 信頼・誠実を表す  
「ブルー」

● 親しみやすさを表す  
「イエロー」

のコーポレートカラーを使用しています。

# ごあいさつ

令和元年度の業務報告にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

令和元年度における我が国経済は、海外経済の減速などから生産や輸出の一部に弱さが見られるものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかに回復を続けておりました。しかしながら、年度終盤にかけて、消費税率の引き上げに伴う消費マインドの冷え込みやインバウンド需要の減少が進むなか、新型コロナウイルスの感染拡大により日本全体に未曾有の大激震が走っております。経済活動は大幅に縮小しており再開の目はたっており、先行きの不透明感が増しております。

このような環境のなか、当金庫はお客様のニーズへの対応力を高めるべく、生産性の向上に取り組んでまいりました。店頭タブレット端末、WEB会議システム導入など業務の効率化を行い、お客様との接点を増加させ、今まで以上に「課題解決型金融機関」として高い付加価値を提案できるよう、共生共助、共存共栄に邁進してまいります。特に新型コロナウイルスの影響でお困りのお客様に対し、共に解決策を考え迅速な対応を心掛けたいと思っております。

以上のような方針のもと、全役職員が業務に精励してまいりました結果、当期末の預金残高は638,013百万円と前期末比21,954百万円(3.5%)、貸出金残高は

415,830百万円と同12,012百万円(2.9%)増加いたしました。また収益面におきましても、本業の収益である業務純益は4,002百万円と前期末比334百万円増加となりました。株式等売却益335百万円を計上した一方、貸倒引当金の積み増しを行い、結果、当期純利益は1,102百万円となりました。なお、自己資本比率については、8.92%となり前期比△0.05%の微減となりました。

令和2年度は、日本全体が国難ともいべき状況下におかれると思われまします。このような時こそ、皆様の真にお役にたつ信用金庫となるために、役職員一人ひとりがお客様に寄り添い、コンサルティング能力の研鑽に努め、地域金融機関の使命を果たしてまいります。

皆様方におかれましては、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

令和2年7月



会長  
片桐 陽



理事長  
多賀 隆一

## C O N T E N T S

■ 経営理念・金庫概要	P1	■ お客さまの様々な経営課題を解決する体制	P9	■ 資料編	P24
■ ごあいさつ	P2	■ 社会貢献活動CSR	P11	■ 財務諸表	P25
■ 地域経済への貢献	P3	■ 総代会に関する情報開示	P13	■ 役職員の報酬体系	P28
■ 決算ハイライト	P4	■ 地域との一層のつながりを	P15	■ 主要な経営指標/預金に関する指標	P29
■ 組織図・沿革・役員一覧	P5	■ 当金庫の活動指針・ 信金中央金庫の概要	P17	■ 貸出金に関する指標	P31
■ 新中期経営計画の状況/ トピックス	P6	■ 主要な事業の内容	P21	■ 有価証券/その他の業務に関する指標/ 連結に関する事項	P33
■ 地域密着活動	P7	■ 主な手数料一覧	P23	■ 自己資本の充実の状況	P35
■ 事業性評価への取組	P8				